



トヨタ S A I

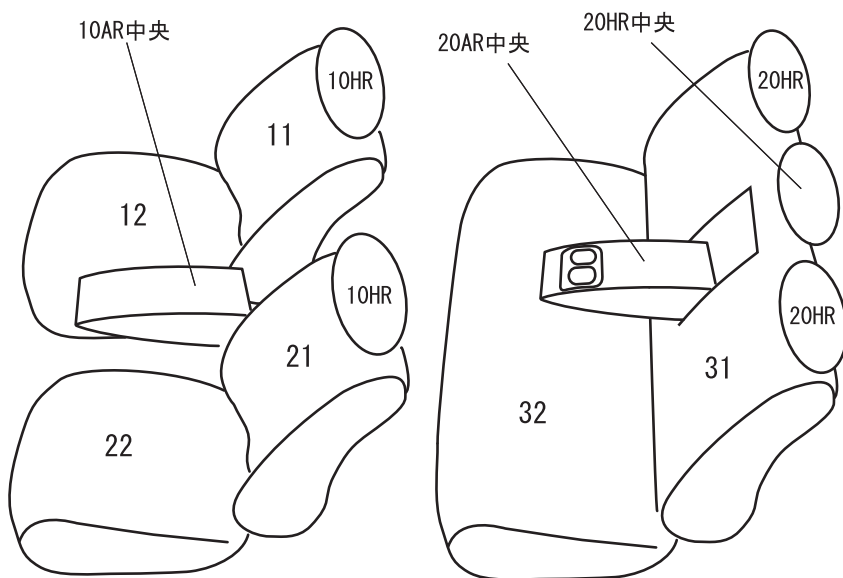
専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

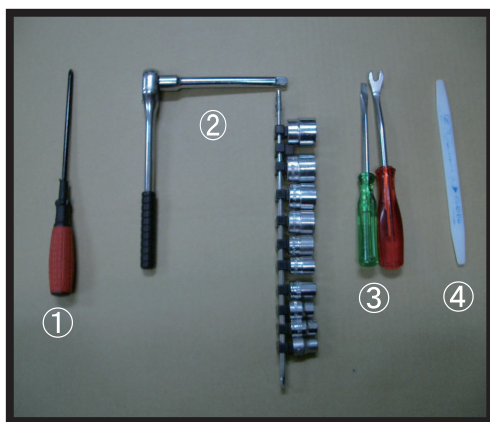
- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

1030/1031

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ①＋ドライバー
- ②ソケットレンチセット
- ③ードライバーまたは内張り外し
- ④ヘラ

*この車種では、①と②の工具を使用します。

*この車種では、③の工具は使用しません。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつくなる場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適 空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



- 1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



- 3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。
その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



- 2 シートを上から見た状態です。
通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



- 4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



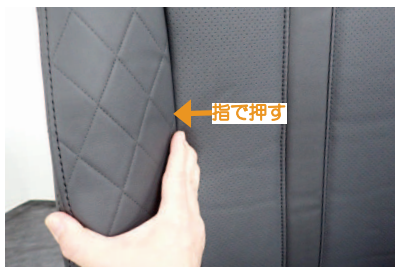
- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。
この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。
SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることになります。
位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。

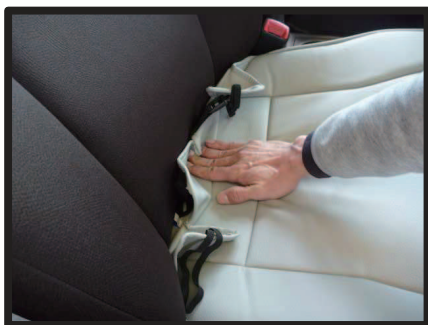


- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

1 列目座面



①始めに背もたれから座面下に覆われているカバーを取り外します。カバーは座面下にゴムで固定されています。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行ってください。



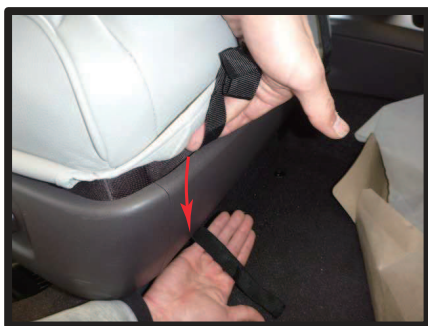
②カバーを図のように裏返した状態でシートのラインに合わせます。



⑤入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。図の矢印部分に配線がありますので、配線をかわして生地を引き出して下さい。



③合わせたラインからずれないようにカバーをかぶせていきます。



⑥カバー前側に付いているベルトを、図のようにプラスチック部の中を通して取り出します。



⑦シート裏の図です。取り出したベルトはシート裏にある金属部品の上を通して、背面から引き出します。



⑩シート外側の生地もヘラ等を使用して、シートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。



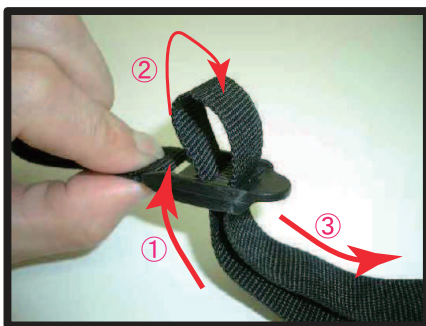
⑧シート内側側面にマジックテープが付いていますので、シートに直接固定します。



⑪1ページの⑥で入れ込んだ生地についているバックルに、⑦で引き出したベルトを固定します。

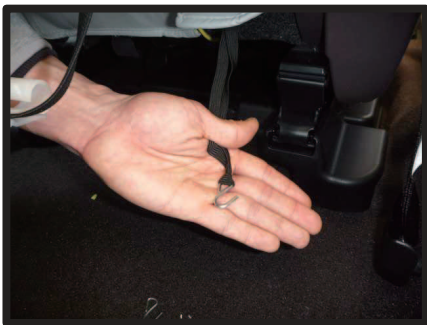


⑨シート前側の生地を、シートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。

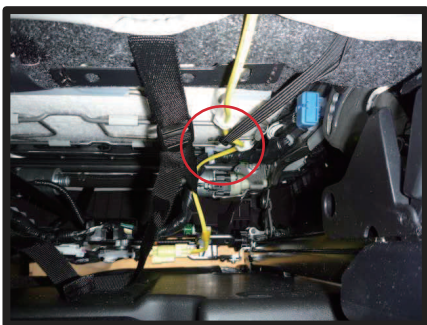


⑫①～③の順番にベルトをバックルに通してベルトを引くと、カバーの前後が引き絞り固定されます。

1 列目座面続き



⑬ 1 ページの⑤で引き出した配線をか
わしている端の生地にはゴムが付いて
います。ゴムに付属の S 字フックを
取り付けます。



⑭ S 字フックを座面裏の金属部分に引
っ掛け固定します。



⑮ シート裏は図のようになります。



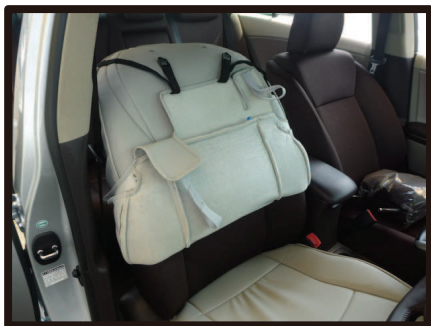
⑯ カバーのラインを整えて 1 列目座面
の完成です。
助手席側も同様に取り付けます。助
手席手動シートは一部シート形状が
異なりますが固定方法は同様です。

1 列目背もたれ



注意

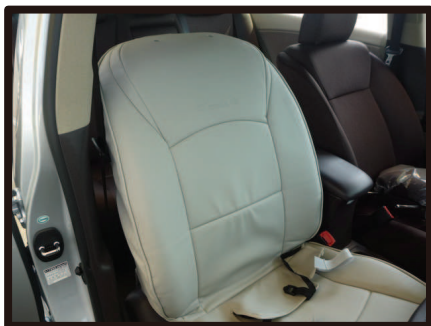
サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- ①カバーを半分ほど折り返して、シートのラインに合わせカバーをかぶせます。



- ④台座部分を取り出すと図のようになります。



- ②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



- ⑤背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。

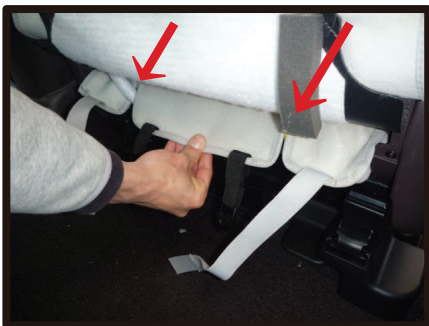


- ③ヘッドレストの台座部分をカバーの加工穴から取り出します。片方の台座のフチに生地をしっかりと潜り込ませ、生地の伸びを利用して台座を取り出します。

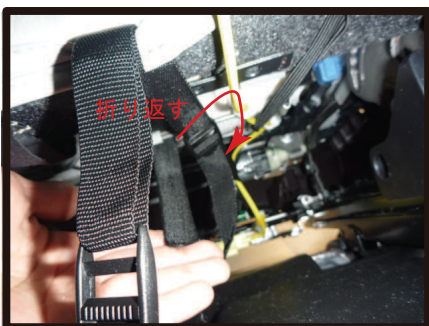


- ⑥①～③の手順で側面のシワをシート中央に寄せて、そのまま下になぞるようにカバーをシートに馴染ませていきます。シート側面のシワがなくなるまで続けて下さい。

1 列目背もたれ続き

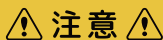


⑦ 4 ページの⑤で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。座面同様に矢印部分の配線を交わして生地を引き出して下さい。



⑧ 引き出した生地にベルトとバックルが重なるように付いています。ベルトを座面裏の金属部分に巻き付け折り返して、バックルと固定します。この際、作業はやり辛くなりますがシートを出来るだけ後方ヘリクライニングさせてベルトを固定して下さい。

※シートを前方に起こしたままベルトを強く固定されますと、シートを後方ヘリクライニングさせた際にベルトが引っ張られ切れる恐れがあります。またリクライニング動作の妨げにもなりますのでご注意下さい。



注意

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



⑨⑦で引き出した配線を交わしている端の生地にマジックテープのベルトが付いています。⑧のベルトと同様に金属部分にマジックテープを巻き付けて折り返し固定します。



⑩ 1 ページの①で外したカバーを元通りに戻します。



⑪ カバーの背面下に太めのゴムが付いています。ゴムをシート裏の金属部分に引っ掛け固定します。

2 列目座面



⑫シート背面下部分は図のようになります。



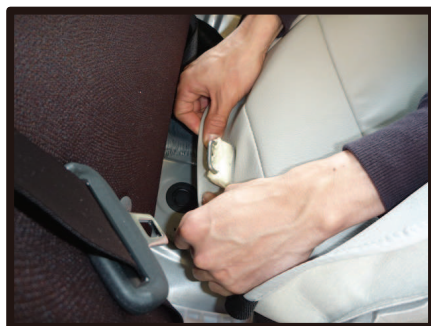
①始めにシートを車体から取り外します。シートは図の矢印位置に金具で固定されていますので、金具を真上へ引き抜くようにして外します。



⑬サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整えて1列目背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。



②金具が外れると図の矢印位置を押さえながら、手前に引くようにシートを外します。周囲に広いスペースがある場合は、シートを車外に移動させると作業が行ないやすくなります。
※シートを車外へ移動させる際は十分に注意して行って下さい。



③シートの付け根部分にある金属にカバーの切り込み穴を通します。
(左右2ヶ所)

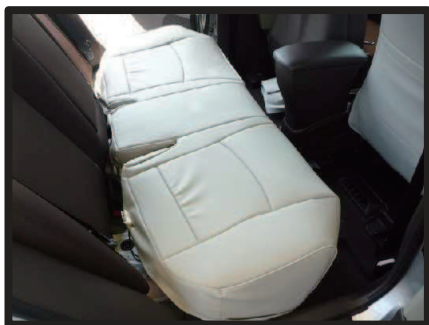
2 列目座面続き



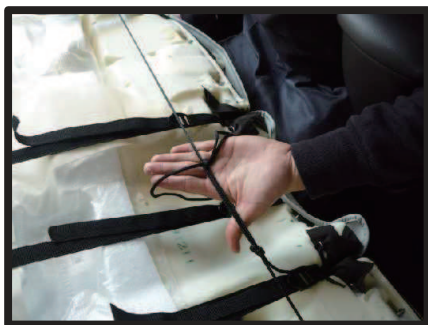
④カバーを裏返してシートラインに合わせて合わせます。



⑦カバーの両端から出ているヒモの片方で輪を作ります。



⑤シートラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑧もう片方のヒモをその輪に通して引き絞るように結び留めます。
※ヒモは強く引きすぎると、ヒモが切れる、生地が裂けるなどの恐れがありますのでご注意ください。



⑥シートを裏返してカバー前後のベルトを固定します。



⑨カバーのラインを整えて2列目座面の完成です。
シートは背もたれカバー装着後に元に戻します。

2 列目背もたれ・アームレスト

※カバーを取り付けることでアームレストを収納する際、生地や生地同士の摩擦でアームレストがスムーズにシートに収まらなくなる場合があります。生地がシートに馴染みますとある程度緩和されますが、予めご了承ください。



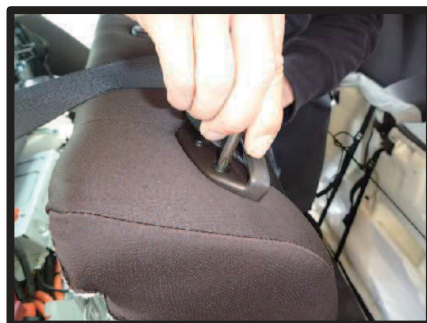
①背もたれシートも車体から取り外してカバーの取り付けを行います。シートは図の赤丸印位置にあるボルトで固定されています。



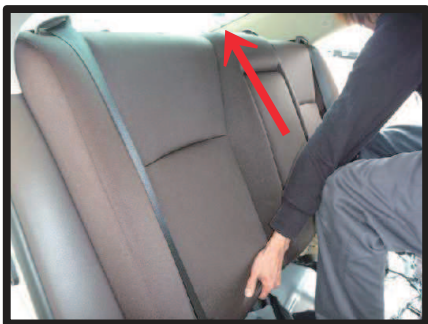
④シートを車体から外した図です。



②4ヶ所あるボルトをラチェットレンチ等を使用して外します。
(ソケット12ミリ)



⑤シートベルトのガイドを外します。ガイドはネジ2カ所で固定されていますので、ドライバーでネジを外してガイドを外します。ガイドは3ヶ所あります。



③ボルトを外したらシートを矢印方向に持ち上げるようにして外します。持ち上げて背面のロックを外し、シート先端を手前に引くようにして外します。

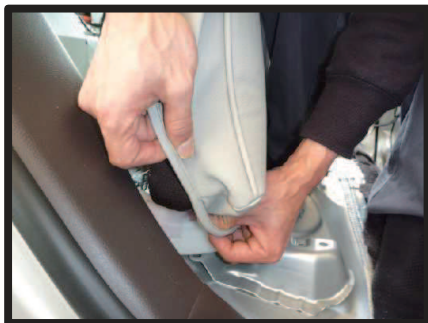


⑥アームレストをシートから外します。アームレストはシート背面にナット2カ所で固定されていますので、ラチェットレンチ等を使用してアームレストを外します。
(ソケット10mm)

2列目背もたれ・アームレスト続き



⑦アームレストをシートから外した図です。



⑩シート下の角に引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。



⑧シート下のボルトで固定されていた金属部分に、カバーの切り込み穴を通します。



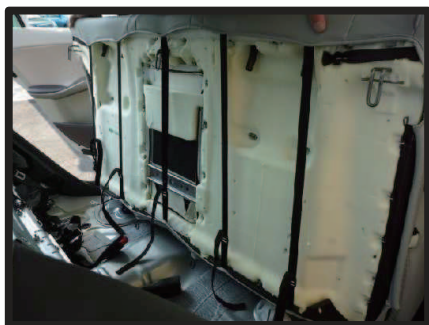
⑪シート全体にカバーをかぶせた図です。



⑨シートの肩口のカバーをかぶせます。



⑫ヘッドレストの台座を全て取り出します。



⑬シート背面から上下のベルトを固定します。



⑭⑮の生地を折り返してカバーの中へ収納するようにカバーをかぶせていきます。



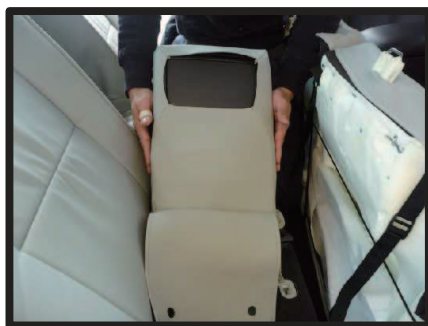
⑭アームレスト収納部の生地をマジックテープ同士で固定します。またアームレスト収納部も、シート本体に生地を押さえ付けてマジックテープで固定します。



⑰アームレスト全体にカバーをかぶせたらマジックテープで固定します。



⑮アームレストにカバーを取り付けます。ナットが留まっていた部分の生地を軸から外します。

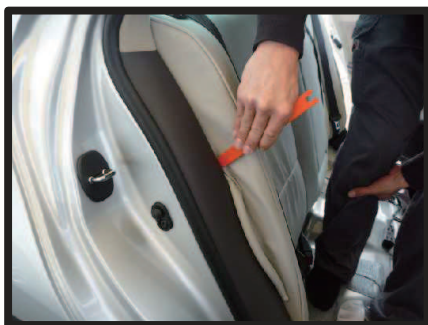


⑱マジックテープで固定すると図のようになります。

2列目背もたれ・アームレスト続き



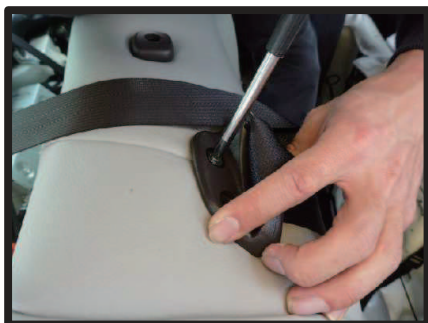
⑲ドリンクホルダーのフチに生地を入れ込みます。ヘラ等を使用すると作業が行いやすくなります。



⑳シートを車体に戻します。側面の生地が外へはみ出てきますのでヘラ等を使用して中へ入れ込んで下さい。



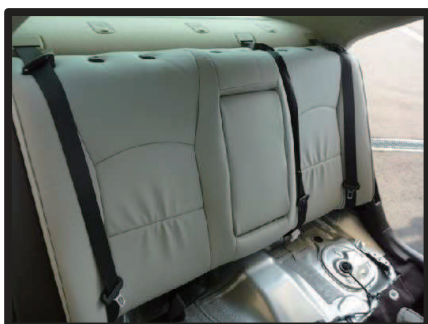
㉑ナットを留める軸にカバーの加工穴を通します。



㉒シートベルトのガイドをカバーの加工穴をふさぐように取り付けます。



㉓アームレストをシートに戻して、2列目アームレストの完成です。



㉔シートのラインを整えて2列目背もたれの完成です。

※座面シートはこの後元に戻して下さい。

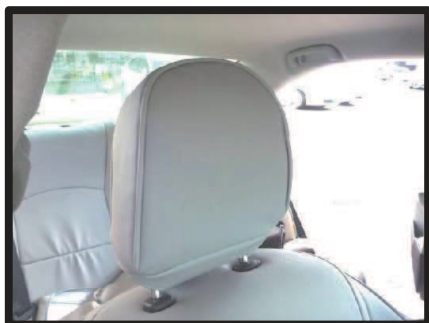
1 列目ヘッドレスト



- ①カバーを半分ほどまで折り返して、ヘッドレストの先端までしっかりとかぶせます。



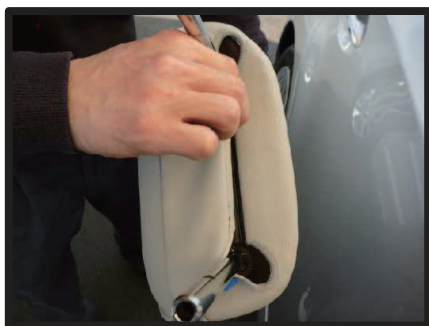
- ④プラスチックフックの固定方法はカギ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と共にはめ込み固定します。



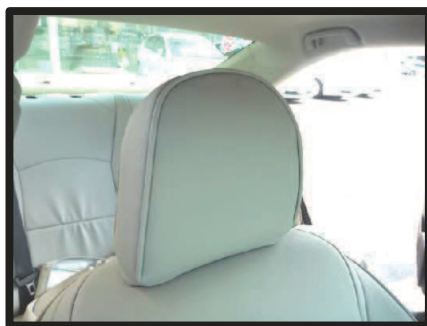
- ②左右均等に生地を引き下ろし、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- ⑤ヘッドレスト裏は図のようになります。



- ③ヘッドレストをシートから取り外して、ヘッドレスト裏のプラスチックフックで固定します。



- ⑥ヘッドレストをシートに戻してカバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。

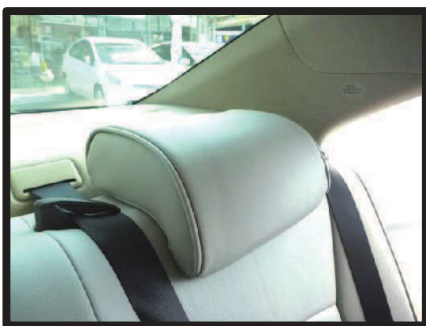
2 列目ヘッドレスト



- ① 2 列目両端のヘッドレストは、ヘッドレスト後方から引っ掛けるように矢印方向にカバーをかぶせます。
※中央のヘッドレストは前方からかぶせていきます。



- ② 慎重にカバーを全体にかぶせます。カバーが全体にかぶると、1 列目同様にヘッドレスト裏でプラスチックフックで固定します。



- ③ カバーのラインを整えて 2 列目ヘッドレストの完成です。

1 列目コンソール

※コンソールカバーはお好みに応じてカバーの取り付けを行って下さい。カバーを取り付けることで上ブタのスライド機能が生地との干渉により妨げられる場合があります。



- ① カバーの前後を確認します。カバーの端が緩いカーブになっている方が前方になります。

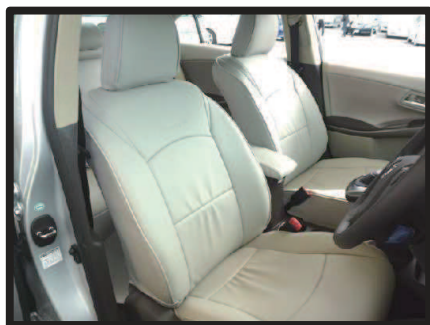


- ② 固定は上ブタに引っ掛けるように固定するのみです。



- ③ 矢印部分後方の生地をヘラ等を使用してフチへ入れ込んで下さい。コンソールカバーの完成です。
強固な固定をご希望される場合、生地裏に両面テープを貼る等の対応をお願いします。

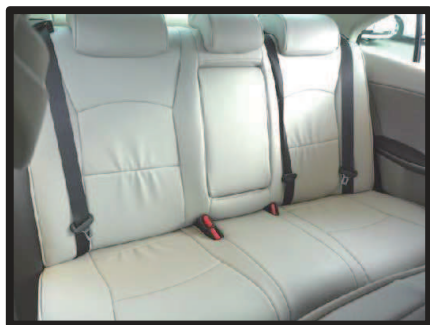
完成図



1 列目



1 列目背面



2 列目・アームレスト収納時



2 列目・アームレスト使用時

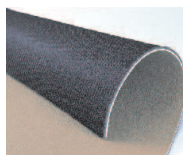


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。
長時間放置しておくとうれやシミが取れなくなります。
表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となる為しっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

